

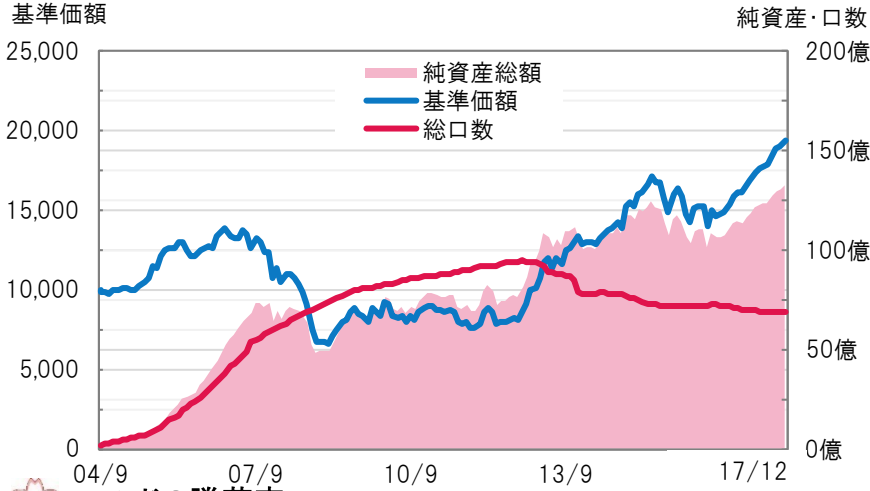


ありがとうファンド 月次運用レポート

第161号②【基準日 2017年12月29日】



基準価額の推移



ファンドの情報

基準価額	19,393円
純資産総額	133億09百万円
口座数	4,739
積立割合	54.8%

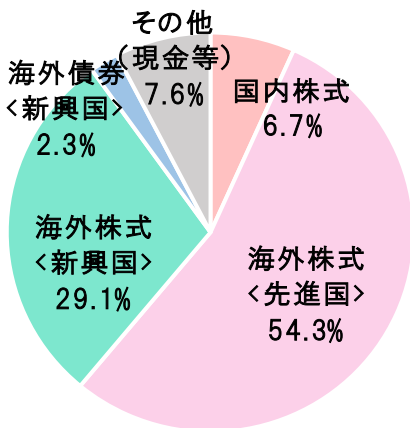


ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.2%	+5.6%	+9.6%	+21.6%	+25.1%	+111.1%	+93.9%	5.09%	17.4
TOPIX配当込み	+1.6%	+8.7%	+13.8%	+22.2%	+37.4%	+134.0%	+104.8%	5.52%	22.2
MSCI ACWI (世界、円)	+2.3%	+5.9%	+11.7%	+20.4%	+24.7%	+123.5%	+196.6%	8.49%	21.8
MSCI KOKUSAI (日本除く先進国、円)	+2.1%	+5.4%	+10.9%	+18.7%	+24.0%	+133.0%	+206.5%	8.76%	23.1
MSCI EM (新興国株、円)	+4.3%	+7.6%	+16.4%	+33.0%	+23.4%	+64.1%	+285.6%	10.65%	25.7

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

資産配分(11月末時点)



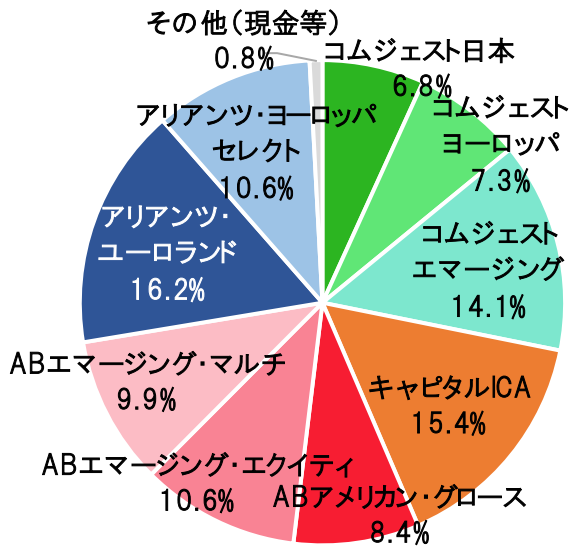
地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.7%	6%	+0.7%
海外株式<先進国>	54.3%	55%	-0.7%
海外株式等<新興国>	31.3%	33%	-1.7%
その他(現金等)	7.6%	6%	+1.6%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ポートフォリオ(12月末時点)



アクティブシェア(11月末時点)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	87%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	88%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマーシング	90%	MSCIエマーシングマーケット
キャピタルICA	開示なし	開示なし
ABアメリカン・グロース	64%	ラッセル1000グロース
ABエマーシング・エクイティ	69%	MSCIエマーシングマーケット
ABエマーシング・マルチ	株式76% 債券23%(注1)	なし
アリアンツ・ユーロランド	70%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	67%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。

注1：ABエマーシング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



12月のマーケットはどうでしたか？



12月のマーケットの動きですが、米国の税制改革法案成立への期待感などから、上昇基調のマーケットでした。序盤から中盤にかけては、米国の税制改革法案が上院で可決されたなどポジティブなニュースがあった一方、トランプ大統領がエルサレムをイスラエルの首都と認めるなどの発表もあり、中東情勢の悪化が懸念され世界株式市場はやや低調に推移しました。その後中盤から後半にかけては、米国の税制改革法案が下院通過、年内の大統領署名などが期待され、世界株式市場は総じて上昇しました。実際に税制改革法案が成立してからは、米国、日本株式市場などでは利益確定もあつてか、やや値を下げて月を終えました。一方、新興国株式市場は、月前半やや弱含んでいた反動もあり後半大きく値を上げる展開で月末を迎えました。

月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は1.57%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで1.11%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで0.81%の上昇、新興国MSCIエマーシング(配当込み)はドルベースで3.64%の上昇となりました。

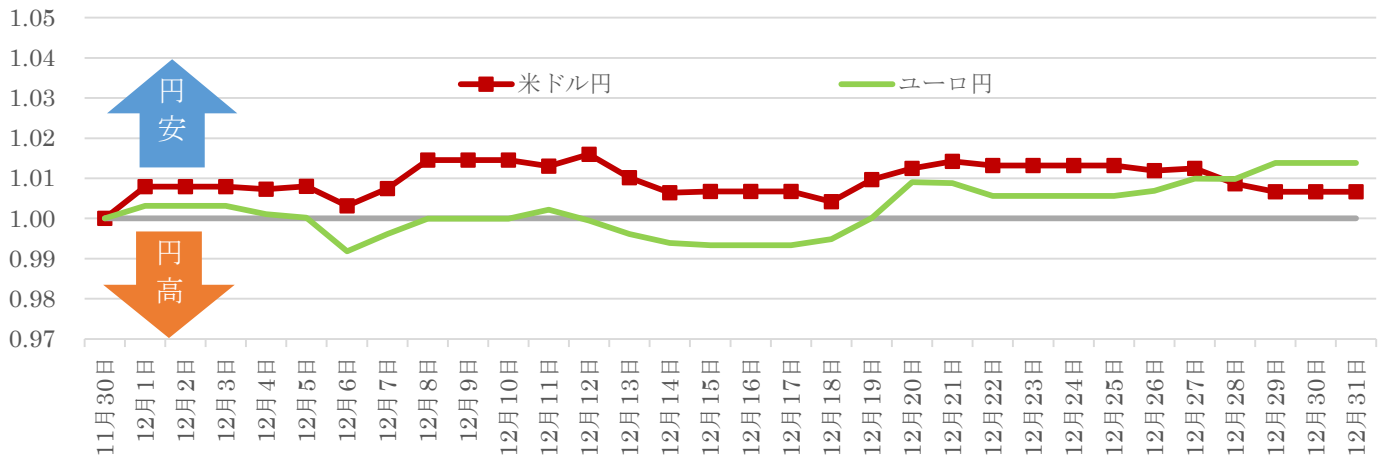
為替相場は月末時点で、米ドル/円が112円台後半と前月末比で円安に転じました。ユーロ/円については135円台前半と前月末比で円安基調で月を終えました。



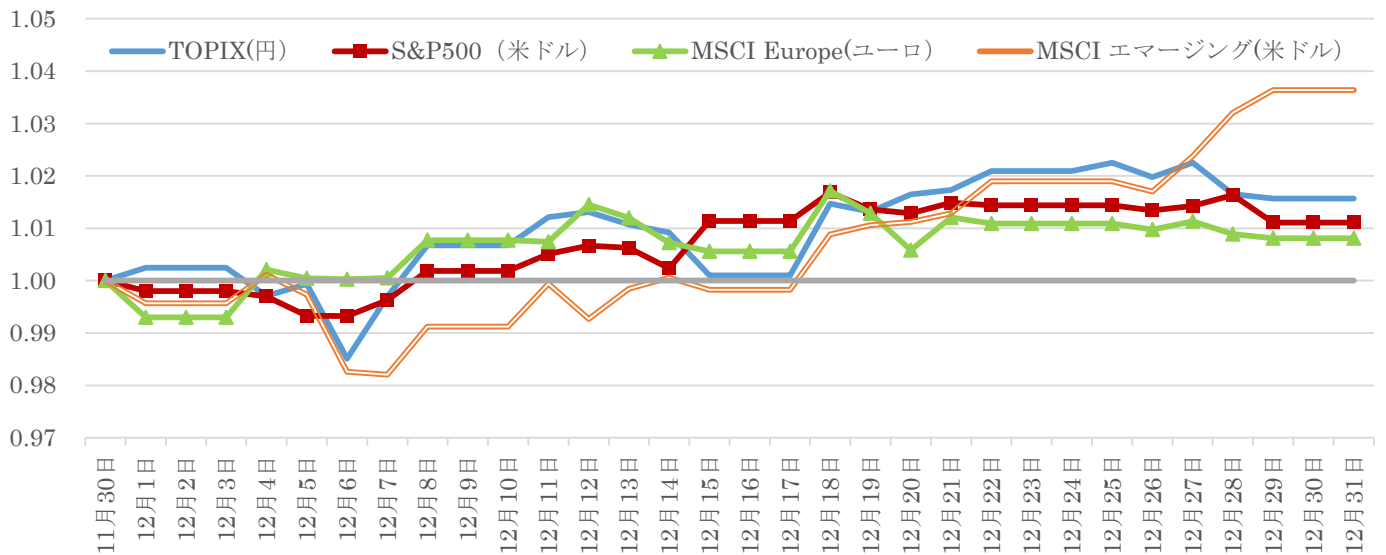
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

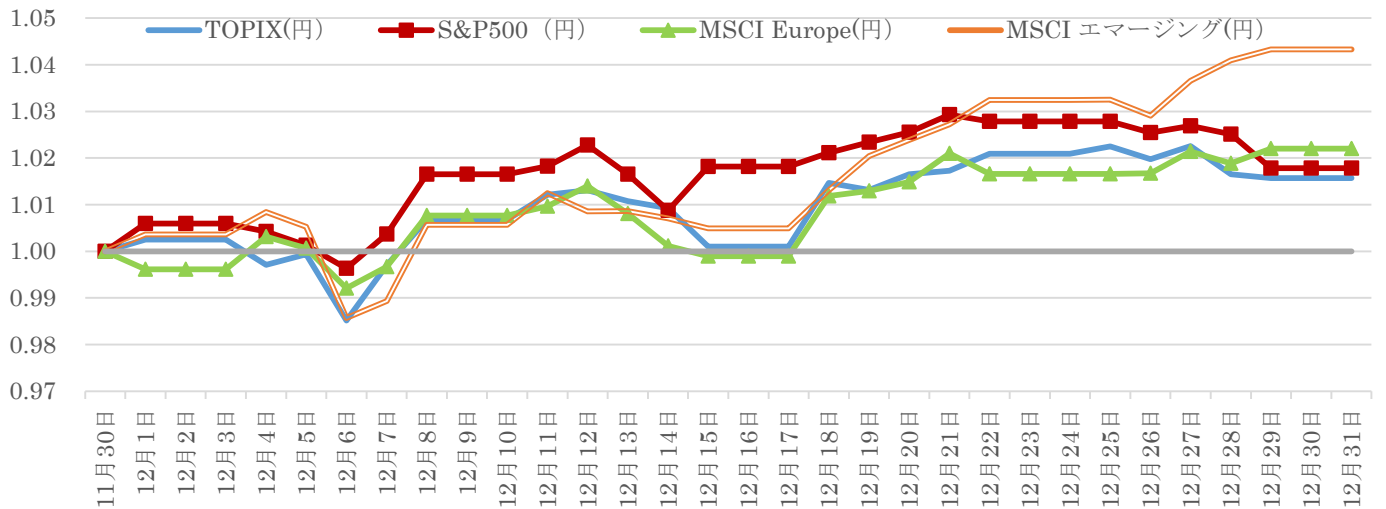
【米ドル円、ユーロ円推移】2017年11月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年11月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年11月30日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、年初から景気感の改善が続いている新興国市場の株価が月後半特に強かったことが確認できると思います。これは12月末を決算日とする海外企業の決算発表を前に、好決算への期待が織り込まれているようにも見受けられます。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

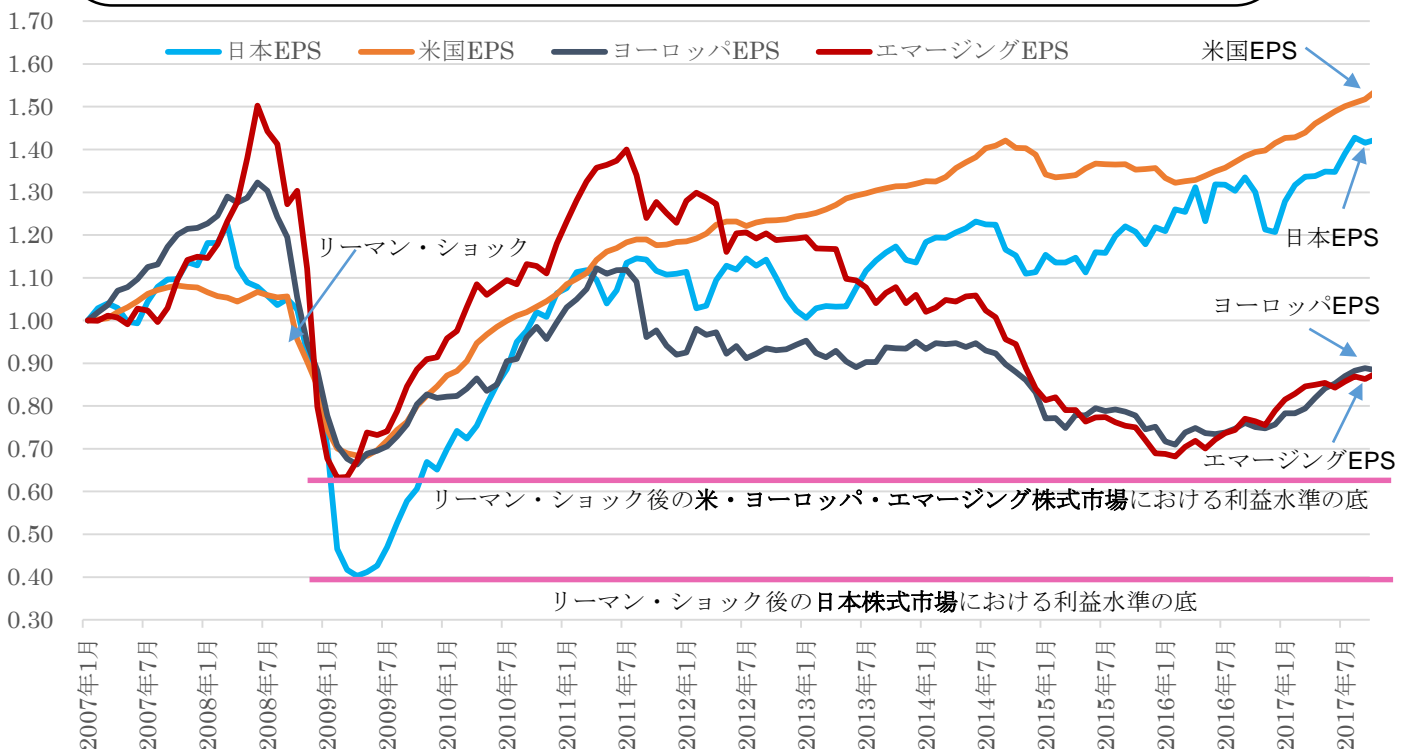
ありがとうファンドの12月月間騰落率は2.2%の上昇となりました。主に新興国株式を投資対象とするファンドの上昇が大きく寄与しました。

12月中の売買状況については、欧州株式市場を主な投資対象としているコムジェストヨーロッパファンドを一部売却し、同様の投資戦略で信託報酬の安いアリアンツ・ユーロランドファンドを買付けスイッチングしました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、北朝鮮問題など一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場は底を打ち活気を取り戻しはじめたように見えます。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2017年12月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

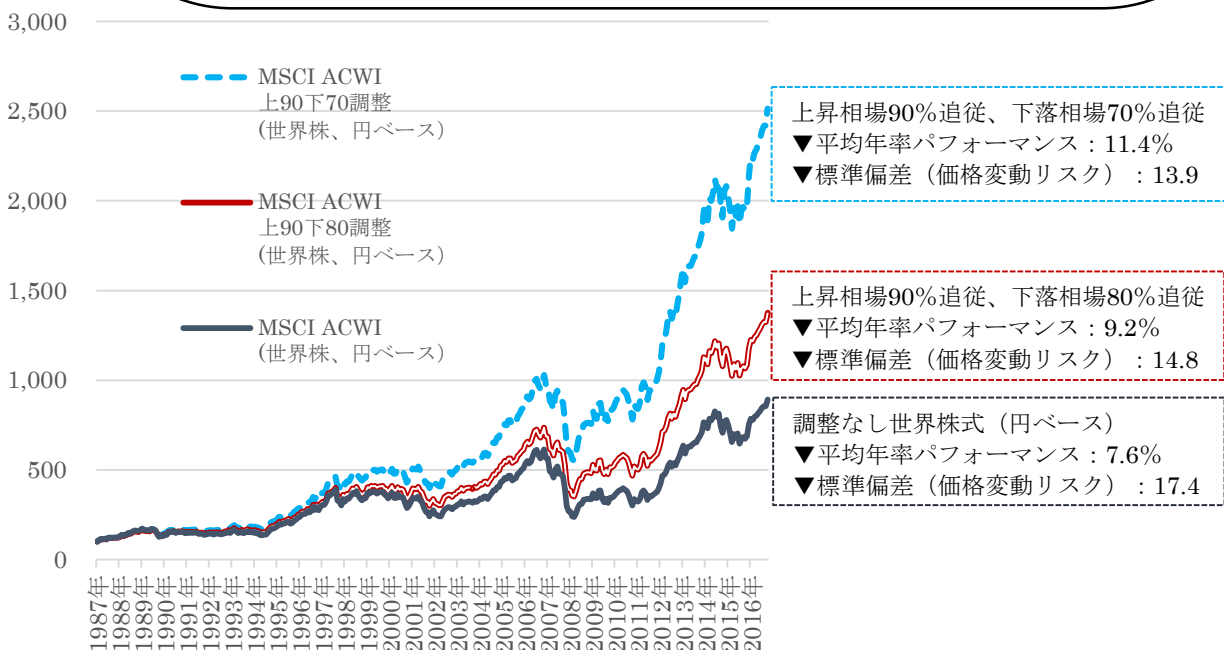
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、国・地域別資産配分の見直し・調整、今後投資予定の金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



パフォーマンス

価格変動リスク

出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

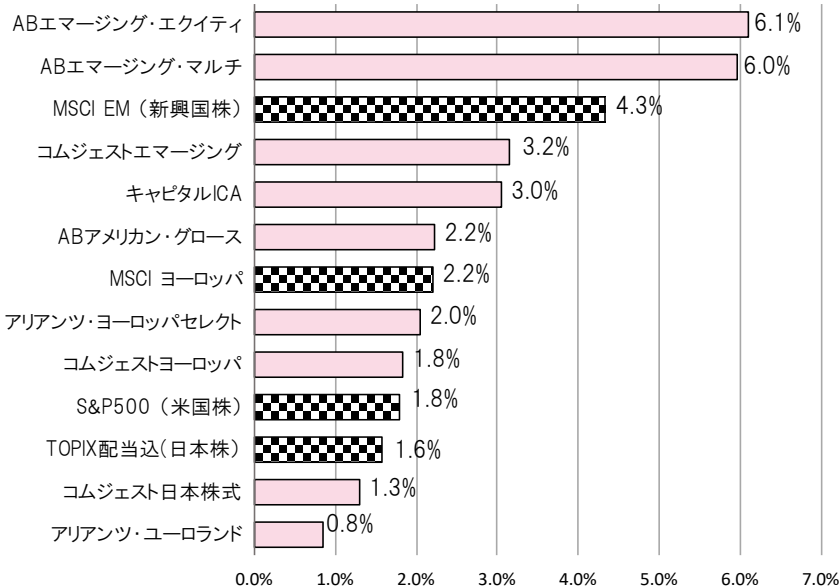


投資先ファンドの状況について教えてください。



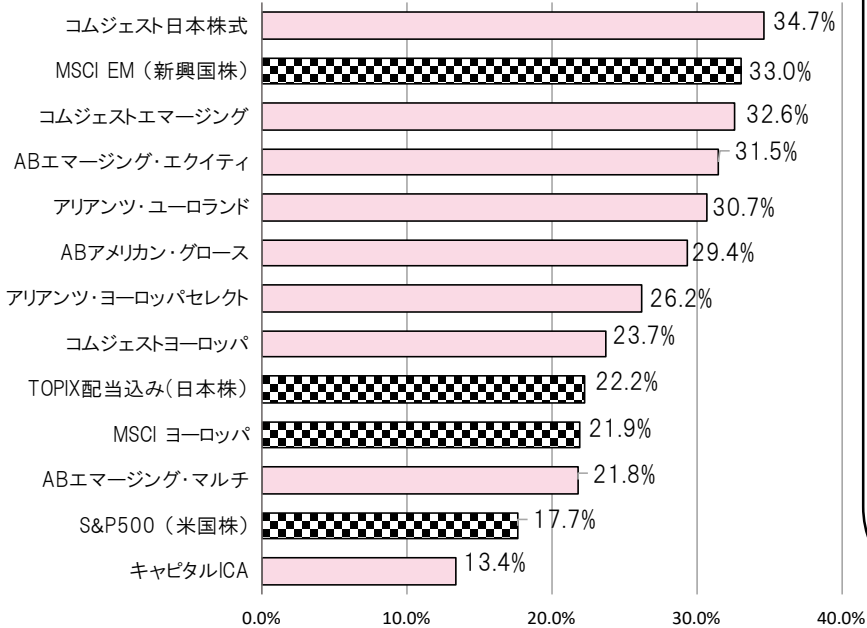
まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年12月29日時点)

【月間騰落率】



月間騰落率については、ABエマージング・エクイティ、ABエマージング・マルチ、キャピタルICA、ABアメリカン・グロースファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォーマンスし、ありがとうファンドの基準価額上昇に寄与しました。特にABの新興国ファンド2本は前月やや弱含んだ分、今月取り返しました。

【年間騰落率】



年間騰落率については、コムジェスト日本株式、アリアンツ・ユーロランド、ABアメリカン・グロース、アリアンツ・ヨーロッパセレクト、コムジェストヨーロッパファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォーマンスしました。これらのファンドに共通することは徹底的な成長株戦略ファンド(グロース戦略)という点です。こういった成長株戦略は2016年後半のトランプラリーで割安だったエネルギー、金融関連銘柄が買い戻されたバリュー相場では出遅れていましたが、過去一年間景気改善が続くにつれ持続的に企業利益を成長できる成長銘柄が徐々に見直された結果、良好なパフォーマンスを実現できたと考えます。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



✿ 投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジエスト日本株式	日本	6.8%	+1.3%	+12.3%	+20.8%	+34.7%			
	TOPIX 配当込み			+1.6%	+8.7%	+13.8%	+22.2%	+37.4%	+134.0%	+18.2%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.4%	+2.2%	+9.2%	+15.0%	+29.4%	+41.2%	+213.1%	+25.2%
3	キャピタルICA	米国	15.4%	+3.0%	+7.5%	+11.7%	+13.4%			
	S&P500 (米国、円)			+1.8%	+6.7%	+11.7%	+17.7%	+29.9%	+171.2%	+21.7%
4	コムジエスト ヨーロッパ	欧州	7.3%	+1.8%	+2.8%	+7.3%	+23.7%	+22.3%	+98.7%	+14.5%
5	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	16.2%	+0.8%	+2.8%	+10.5%	+30.7%	+32.2%	+109.5%	+15.7%
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	10.6%	+2.0%	+3.6%	+9.1%	+26.2%	+24.5%		
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+2.2%	+2.3%	+9.2%	+21.9%	+16.1%	+91.2%	+13.6%
7	コムジエスト エマージング	エマージング	14.1%	+3.2%	+9.0%	+15.2%	+32.6%	+22.7%	+92.4%	+13.7%
8	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.6%	+6.1%	+6.4%	+13.6%	+31.5%	+28.0%		
9	ABエマージング ・マルチ	エマージング	9.9%	+6.0%	+7.3%	+10.9%	+21.8%	+25.5%	+63.4%	+10.1%
	MSCI EM (新興国株、円)			+4.3%	+7.6%	+16.4%	+33.0%	+23.4%	+64.1%	+10.2%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

積立投資のメリット



- ◆ 取得単価を平準化
- ◆ 時間分散でリスクを低減
- ◆ 長期で投資を継続しやすい



各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄					12月29日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	5.0%	
2 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	4.1%	
3 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.1%	
4 日本電産	日本	資本財・サービス	精密小型から超大型までの幅広いラインナップを誇るモータ事業を中心に、モータの応用製品・ソリューションも手がける。既存事業による成長と積極的なM&A戦略が基本。	4.0%	
5 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.8%	

◎ニッポンコムジェストヨーロッパファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					12月29日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッションアパレルのリテイリングカンパニーの一つ	7.0%	
2 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.2%	
3 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.2%	
4 コロプラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スポーツ用品に強み	4.2%	
5 ザルトロウス・ステディム・バイオテック	フランス	ヘルスケア	ナイロン袋製造会社。病院や研究所で使用する滅菌溶液、および処方薬の袋などの製造に強み	4.0%	

◎ニッポンコムジェストエマージングマーケットファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					12月29日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	5.2%	
2 チャイナ・ライブ(中国人寿保険)	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.9%	
3 ネットイーズ(網易)	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.4%	
4 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	4.4%	
5 MTNグループ	南アフリカ	電気通信サービス	通信サービス会社。地域、国内および国際通信サービスのほか、ブロードバンドやインターネットサービス、固定通信と移動通信の融合製品やサービスを提供する。	4.1%	



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)
株式組入上位5銘柄

				11月30日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	6.0%	
2 VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	世界最大級の電気通信事業者。150か国以上に展開。NYダウ30採用銘柄	2.9%	
3 MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	2.4%	
4 AMAZON	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.3%	
5 AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.3%	

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ
組入上位5銘柄

				11月30日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな特許会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.2%	
2 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.5%	
3 VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高遠かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%	
4 UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.9%	
5 BIOGEN, INC.	アメリカ	ヘルスケア	多発性硬化症(MS)、その他自己免疫疾患、神経変性疾患、血友病の治療薬の発見、開発、製造、販売に注力する世界的バイオテクノロジー企業。	4.7%	

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ
組入上位5銘柄

				11月30日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	6.0%	
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	5.1%	
3 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.8%	
4 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	2.9%	
5 CHINA TELECOM CORP.,LTD, Class H	中国	通信	有線(固定)および無線(モバイル)の通信サービス事業者。製品およびサービスには、有線およびモバイルでの音声、インターネット、データ管理、専用回線、および統合情報アプリケーションの提供などがある。	2.5%	

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ
組入上位5銘柄

				11月30日時点	
銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率	
1 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.7%	
2 KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じて、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス糸、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学製品を製造する。	3.0%	
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.9%	
4 YANGZHIJIANG SHIPBUILDING HOLDINGS	中国	資本財	造船メーカー。商船、小型バラ積み船、多目的貨物船、コンテナ船、ケミカルタンカー、海洋補給船、救助船およびクルーズ船などのさまざまな種類の船舶を製造する。	2.6%	
5 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	2.2%	

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース
組入上位5銘柄

				11月30日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.2%	
2 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.1%	
3 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	4.9%	
4 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.9%	
5 BANCA GENERALI SPA	イタリア	金融	イタリアの投資会社。金融アドバイザー、プライベート・バンカー、取引先関係担当者のネットワークを通じて、富裕層の個人顧客にサービスを提供する。	3.6%	

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト
組入上位5銘柄

				11月30日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	7.2%	
2 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.4%	
3 PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける特許会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	5.2%	
4 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る。	5.0%	
5 RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	生活必需品	家庭用品、ヘルスケア・パーソナルケア用品を製造・販売。地域別のセグメントは、欧州・北米・中南米、北アジア、東南アジア・オーストラリア・ニュージーランド、ロシア・OIS、中東、北アフリカ、サハラ砂漠以南のアフリカなどがある。	4.2%	

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

『今後の見通しについて』

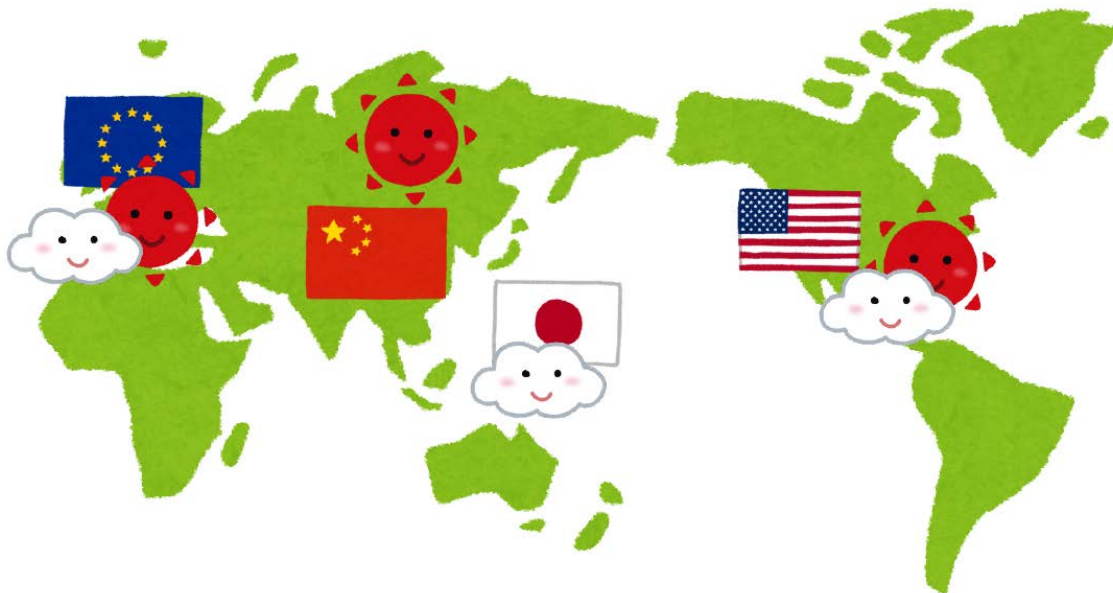
ありがとう投信株式会社

ファンドマネージャー 真木 喬敏



皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も日々精進していきますので何卒よろしくお願い申し上げます。ところで、昨年10月～11月の運用報告会にて説明しました今後の見通しについて、セミナーに参加できなかった方々もいらっしゃると思いますので、こちらで簡単に説明させていただきます。

● 世界経済の見通しは改善基調、株式市場では過熱感のある市場も・・・

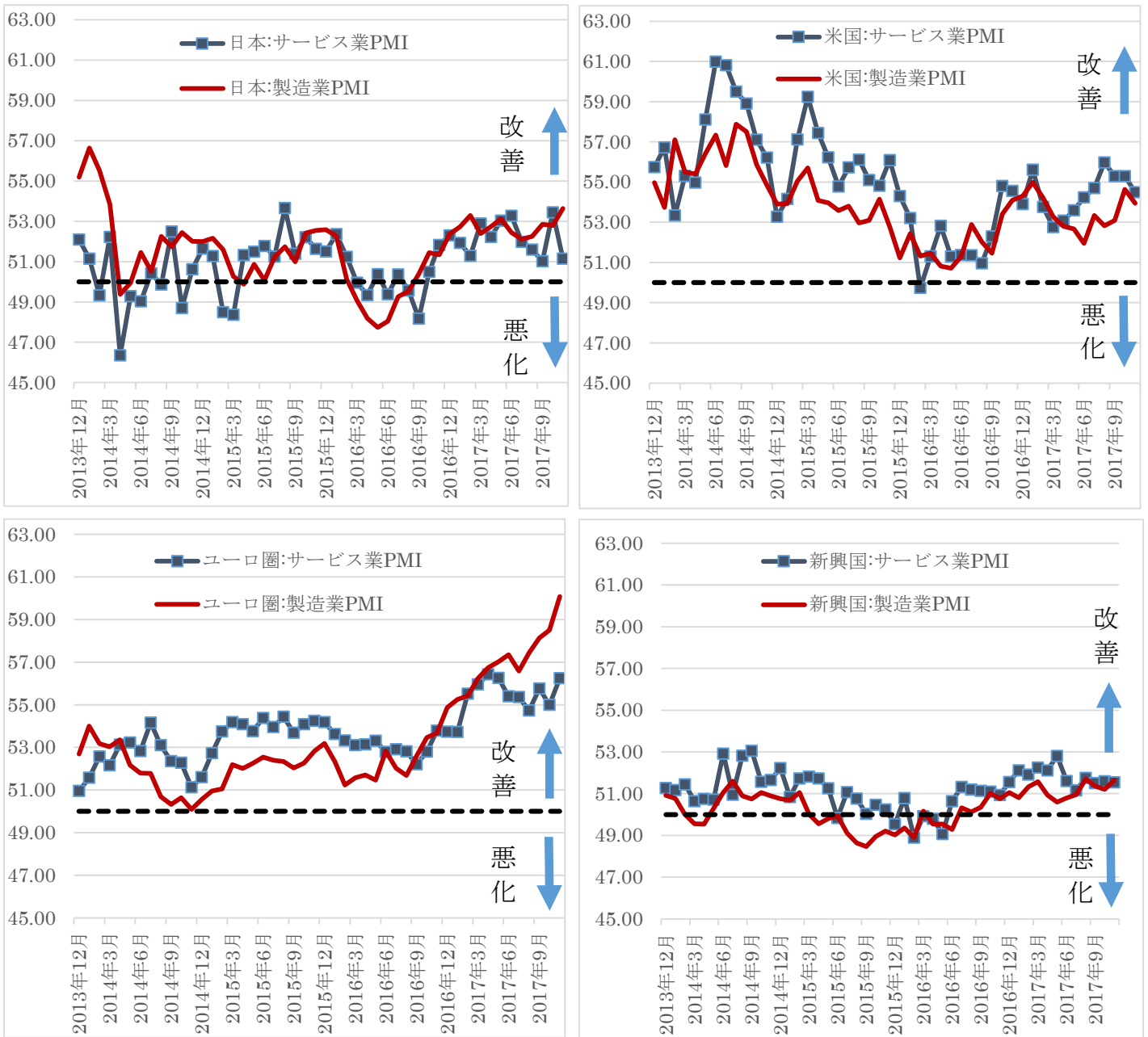


基本的には世界経済の見通しは改善基調が続くと考えておりますが、株式市場という観点で考えると、一部の地域特に米国株式市場はやや過熱感があると思います。日本についても経済は回復基調で、株価も米国ほど過熱感が見られないので短期的には投資妙味はあると考えておりますが、やはり年80兆円規模の日本国債買付け、日本株ETF、J-REIT買付けなど、他市場が金融緩和の出口に向かう中、出口の議論さえできない国内市場では、中長期で金融緩和の反動が懸念されるため、日本株の保有割合は引き続き低位に留めます。一方、欧州株式市場と新興国株式市場については、ややポジティブな見通しをしています。本レポート4ページの各国・地域別企業利益の推移グラフを見ても、リーマン・ショック後からの企業回復という点では大きく出遅れていた両市場については、今後世界経済全体が回復・改善してゆくなかで、伸びしろの大きい地域と考えて、やや多めの保有割合を継続します。次ページはPMI(購買担当者景気指数)推移グラフでは4国・地域別にデータをまとめました。特に英国のEU離脱や、テロなどであまり良いイメージのないユーロ圏では、意外に景気感が改善基調に転じていることが確認いただけるかと思えます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

●PMI(購買担当者景気指数)の推移:企業の景気感も改善基調(50より上が改善基調、50より下が悪化基調)



ざっくりではございますが、運用報告会で説明させて頂いた今後の見通しのダイジェストバージョンでございます。さて、1月後半から全国で、2015年からの新体制にて新たに組み入れたファンドの説明セミナーを企画しております。実際に組み入れている海外の個別銘柄の具体的な成長ドライバーなどを説明させて頂く予定でございます。長期投資というやや抽象的なコンセプトをこういった投資先の企業戦略を通して実感頂ければと思います。また、このたび12月から投資可能になったブラックロックの金ETFとバンガードの米国国債ファンドも説明させて頂く予定でございます。株とは異なる値動きをする他資産を組み入れることによる当ファンドの分散効果について説明させて頂く予定でございますので、ご参加頂けますと幸いです。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 ありがとう 39 クッキング : 可愛いサイズのイカ飯

年末はマーケットも休場で暇でしたので、一日中ぼーっとテレビを見て過ごしました。北朝鮮特集がいくつか報道されていて、今にも壊れそうな木造船でイカ漁をしている様子が撮られていました。そういった場面を何度も見ているとサブリミナル効果が効いたようで、無性にイカが食べたくなくなってきました。ということで、正月の休日中作り置きできるイカ飯を作ることにしました。イカさえあれば、あとは台所にいつもあるようなもので料理できますので是非チャレンジしてみてください！

▼材料(2人前くらい)

- やりイカ 4杯(するめイカでも OK)
- 乾燥シイタケ 少々
- 人参 少々
- もち米 80g
- 米 80g

【米に合わせる調味料】

- 酒 大さじ 2
- みりん 大さじ 1
- 醤油 大さじ 1

【煮汁】 適量

- 酒
- 砂糖
- みりん
- 醤油
- 水
- 生姜 少々



① もち米と米を水に30分ほど浸しておきます。

もち米と米を同割で混ぜることにより、もち米には味が良く浸み込む一方、普通の米は冷めてもびちゃびちゃになりにくいので、作り置きにはうってつけのコンビネーションです！
30分程度浸したら、ザルに上げて水気をきりましょう。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

②イカの内臓とゲソを外します。

最近はお魚屋さんでイカの処理をしてくれるので、イカを処理すること自体あまりないと思いますが、これを機にチャレンジしてみましょう！まずイカの内臓を外します、ゲソの方から手を入れると本体と内臓をつなげている箇所があるので、指で挟んで引き離しましょう。あとはゲソを引いてあげればすんなり取れます。

また、透明なおおきな骨が一つあるのでこちらも引っ張ってあげると自然に取れます。やってみると簡単です！それから、イカの本体の外側には皮がついていますので、手もしくはガーゼなどを使いをはがしてあげましょう。最後に簡単に洗って水気をきりましょう。ゲソは目を外し、口(くちばしみたいに堅い部分)をはがして、足だけにします。



③人参と乾燥シイタケを小さく刻み、生姜もスライスします。

人参と水でもどしておいた乾燥シイタケをみじん切りにします。乾燥シイタケのもどし汁は煮汁の出汁にしても美味しくなると思います！生姜は後で煮汁に入れてイカの生臭さをとるために入れるので、少量でOKです。手元になかったら入れなくてもOKです！



④米詰めます！煮込みます！

米と調味料と刻んだ人参とシイタケを混ぜて、先ほど処理したイカの本体に詰めます。イカは煮ると縮み、一方米は大きく膨らむので、あまり詰めすぎると爆発してしまいます。7分ぐらいで十分だと思います。また、心配な方は詰める前に、イカの本体にフォークなどで穴をいくつか開けておくといいですね。爪楊枝などで出口をふさぎ、鍋にゲソと共に並べ【煮汁】と生姜スライスを入れた後、全体が浸る程度水を入れます。一度強火で沸騰させたのち、落とし蓋をして弱火で30分程度煮込みます。時折返してあげて両面に色を付けてください。



⑤切ります！食べます！

色がつき、イカのおなか部分がふっくら膨らんだら鍋から出してしばらく冷やして味を浸みこませます。煮汁が残っているようなら、ゲソだけ引き続き煮込みましょう。食べる際に少し味が足りないようでしたら、この水分を飛ばしたタレをかけるとうまいと思います。



どこか懐かしい素朴な味です。思えば私は高校時代をイカが名産の函館で過ごしました。男子高の寮生活、何言ってるかよくわからないカトリック宣教師の先生達が色々教えてくださいました。もう一度人生やり直せるなら、共学で自宅から通える高校に行ってみたいです……

と愚痴を言ってもしょうがありませんね。良くも悪くもさまざまな事を思い出させてくれる一品でした。冷えてもOKですので、是非お子さんのお弁当などでも使ってみてくださいね！



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

🌸 ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

